

第1回 天王寺区区政戦略会議

日時：平成24年10月18日（木）

午後7時～午後9時8分

場所：天王寺区役所 5階 502会議室

○事務局

ちょっと遅れておられる方もおられるようではございますけれども、定刻となりましたので、ただいまから始めさせていただきますと思います。本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。会議の開催に当たりまして、急な開催となりましてお詫び申し上げます。ただいまから、第1回天王寺区区政戦略会議を開催させていただきます。私は本日の会議の事務局を担当させていただきます総務課の担当係長をしております高橋といいます、よろしくお願いいたします。この会議は報道機関への取材についてもフルオープンで行うこととさせていただいております、会場内のカメラ撮影や議事の全てを対象とさせていただきます、ご了承をお願いいたします。ご参考に、1社の報道機関が取材に来ております。では、お配りしております資料の確認をさせていただきますと思いますので、お願いいたします。まずですねホッチキス止めで左に2つとめております次第がございますけれども、資料をおめくりいただきましたらページが17ページまでございまして、資料の4の4までついてございます。その次に、資料番号を振っておりますが、申し訳ございません、分厚い「災害に強いまちてんのうじ」というホッチキス止めの資料がございます。こちらが資料の5となっております。参考資料としましてホッチキス止めの資料が1つ、こちらが平成24年度天王寺区運営方針様式2という分と、1枚もので2つございまして、1つが天王寺区区政戦略会議に関するご意見シートという1枚がございます。それともうひとつが連絡先シートということで、こちらの資料お手元でございますでしょうか？資料が不足している方がおられましたら、おっしゃっていただきたいですけれども、大丈夫でしょうか？それとあと1枚、両面で1枚ものがございますけれども、出水委員よりご提案いただいた内容ですけれども、今回はこの内容についてご議論させていただくことは時間の都合上できないですけれども、委員の皆さまから具体的に積極的な例えばこういう内容を議題として取り組んだらいいんじゃないか、とか、今後こういう議論をした方がいいんじゃないか、という積極的にご提案いただければ助かりますので、よろしくお願いいたします。

それとですね、連絡先シートを先ほどご案内させていただきましたけれども、区政戦略会議の委員の皆さまで意見交換・情報共有して頂く際にご活用いただけるよう、ご用意させていただきました。委員の皆さまの携帯電話やメールアドレスなど、共有して頂くためのものですので、決して共有を義務付けるものではございません。共有してもいいよ、ということであれば会議の終了後にご提出いただきましたら、共有しても良いとい

う方には連絡先をご案内させていただくよう考えておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、水谷区長より、ご挨拶させていただきますので、よろしく願いいたします。

○水谷区長

どうも皆さんこんばんは。市会議員の先生お二人もこんばんは。あいさつを長くしてもなんですので、すぐに議論に移りたいと思うんですが、先日顔あわせさせていただいてですね、今日、早速第1回目の区政戦略会議ということで、1回目の議題をどんなふうにしたらいいか、ということをお皆さんから様々なご意見をいただきました。防災・教育・いじめ対策と多岐にわたる訳ですが、皆さんが言われていた最大公約数の部分をとってですね、今の天王寺区で行われている施策事業ひとつひとつを検討して、そのうえで皆さん、各自例えばこの予算はカットして、そこで生じた財源をこういう部分に振り向けたらいいんじゃないか、という事業提案いただきながら議論進めて行く、という流れをしたらいいんじゃないか、と今回第1回天王寺区区政政策チェックということで議題設定させて頂きました。またそれに先立ってですね、まず各論に入る前に天王寺区の良い所と、もっと改善したらもっと良くなるんじゃないかと言う、強み弱みの部分をみんなで意見を出し合って考えてみるということをやったらいいんじゃないか、というご意見もありましたので、まずそういったところを天王寺区の強み弱みというテーマでフリートークさせていただいて、そのあとで、政策チェックをやらせていただきたいと思えます、議論に先立ちまして、そこに見えにくいかもしれないですけども、ホワイトボードに守って頂きたいグランドルールを設けさせていただきました。3つございます。ちょっと見えずらい方もおられるかもしれないので、口頭で述べさせていただきます。まず、今までどうしても会議と言うと僕と委員さん一人との議論というのはよくあった訳なんですけれども、ぜひ委員間の横の議論を心掛けてください、我々もうまくファシリテーションできるようにやっていきたいと思えます。2つ目なんです、みんなの発言を妨げてしまうような長い発言はそれぞれお互い自粛していこうということです。最後ですけども、こういう考え方なんでしょ、というレッテル貼りをしたり、発言内容について異論反論はもちろんしていただいていいんですけども、それをバカにするような発言だけは慎んでいただけたら、みんなでそういうことに気をつけていけたらと思っておりますので、今日は2時間みっちり議論よろしく願いいたします。

○事務局

それでは、委員の皆さまの自己紹介に移らせていただきたいと思っております。得意な分野でありますとか、興味のある分野など、ご紹介いただければありがたいと思っております。なお、中井委員、山里委員におかれましては、本日は所用によりご欠席と連絡をいただいております。会議の進行上、大変申し訳ございませんけれども、お一人当たり30秒程度でお願いいたします。

出水委員よりお願いできますでしょうか

○出水委員

出水（いずみ）と申します、よろしくお願ひいたします。今住んでおりますのが生魂校区になりますが、天王寺区引越してから 5 年ほどおります。特に皆さまのような専門分野があるないというものではないですが、幼稚園の息子がおります。教育分野に親としてすごく関心ありますし、いままでほんとに任せっきりということもありますので、今回このような機会をいただきまして、自ら何か汗を流してできることがあればな、と応募させていただきました。ぜひこういう場で区長、市議員のお二人もお越しの前で積極的な意見で何か思いが伝われば、と思っております、よろしくお願ひいたします。

○内本委員

はじめまして内本（うちもと）と申します。年齢は 28 歳です。昨年まで東京でプロアスリートのマネージャー として仕事をしてきました。その他には企業の PR の仕事があるんですが、その 2 点で仕事をさせていただいております、自身の強みとしてはスポーツビジネス、市場としては小さいんですが、非常にエンターテイメント性のある新しい分野であるかな、と思っております。その他に企業を PR する仕事をさせていただいたんですけども、企業だけでは無く、こういった行政の PR という視点でもに自分の強みを発揮できるのではないかと、思っております。天王寺区にはまだ住んで 3 カ月、それまで大阪には住んだ経験も無いので、情報としては皆さまに比べると非常に少ないと思うんですけども、新しい目線で天王寺区を見て行き、皆さんのようにご意見させていただければなと思っております。よろしくお願ひいたします。

○河村委員

河村良平（かわむらりょうへい）と申します。歳は 32 歳で、職業は理容師、散髪屋さんをやっております。筆ヶ崎の方に住んでいますけれども、もともとは四天王寺の近くの大道路というところに住んでおりました。父も出村委員もご存じだと思いますけれども、防犯協会の方でいろいろお世話になっております。また、これから区政戦略会議でいろいろと皆さんと議論していくので、よろしくお願ひいたします。

○神崎委員

神崎（かんざき）と申します、よろしくお願ひします。年齢は 52 歳です。不動産の賃貸業を営んでおります。天王寺に越してきて 10 年になります。子どもが 1 人おまして、いま東京の方におります。個人的には子育てに関心があり、私も 4 人兄弟の末っ子で、いかに子どもが重要なところで特に教育の中でも問題となっております、いじめの問題については取り組んでいきたいと思っております、そういう方面でいろんなご意見、議論したいと思っております。よろしくお願ひします。

○栗谷委員

みなさんこんばんは、栗谷信之（くりたにのぶゆき）と申します。出村委員と田淵委員と第 1 回の区政会議から、昨年 7 月からお世話になっております。私は生まれも育ちも天王寺でございまして、聖和小学校、天王寺中学校と進み、現在は 48 歳、仕事は寺田

町の方で写真関係の仕事をさせていただいています。27 歳からですね福島先生も入っておられましたですけれども、大阪青年会議所に入っておりまして、40 歳定年なんですけれども、まちづくり、空堀地区の再生とかですね、わんぱく相撲とか、天神祭もいろいろな活動を頑張って来ました。JC（青年会議所）が終わってですね、次は何かと言いますと PTA に声がかかりまして、長男の明星学園の PTA、次男のいま天王寺教育大付属の PTA 実行委員会の委員長をやっております。一昨年に末娘が卒業させていただいた天王寺小学校の PTA 会長をさせていただきました。現在、河村委員と一緒にですね青少年指導員もやっております、地域の子どもたちのためにですね、何か力になればと思っております。やはり子どもの育成がこれからの天王寺に一番大事だと思っておりますので、そういう分野で皆さんにご指導いただければと思います。よろしくお願いします。

○越村委員

越村真己子（こしむらまきこ）と申します。この 3 月まで仕事として地域の福祉のまちづくりと、ボランティア支援を仕事でしておりました。3 月で退職しましたので、これからはこっちの立場でやっていきたいと思っております。住んでいるのは筆ヶ崎です。引っ越してきて 7 年、ずっと大阪市民だったんですけれども、天王寺区では 7 年です。よろしくお願いします。

○酒井委員

酒井建志（さかいけんじ）です。いま 20 代ということで、若い意見を伝えていきたいと思っております。福祉分野で障がいを持った人の意見をどんどん区政に反映していただくよう、皆さんと議論させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

○渋谷委員

渋谷（しぶや）と申します。住んでいるところは空堀町で 8 月から住み始めたところなんですけれど、仕事は化学関係の分析の仕事をしております。今回、ここに応募したきっかけは単純に面白そうだなって思ったところなんですけれども、天王寺区はとても歴史がありまして、もう一面にすごく若い人のパワーが、活気があふれてて、古いものと新しいものが、すごく融合してる素敵なまちだなって感じております。先日の打合せの時に、四天王寺を世界遺産にという話がありましたけれども、日本だけじゃなくて、国際的にも世界にも誇れるような天王寺区になるための手助けが少しでもできればな、と思っております。よろしくお願いします。

○田中（誠）委員

田中誠悟（たなかせいご）と申します、38 歳です。生まれも育ちも天王寺区で、いまは上本町で獣医を、動物病院を開業しております。公衆衛生や街ねこ関係には協力できるところがあるのかな、と思っております。ここに応募させていただいたのはですね、そろそろ日本の社会というものを考えた時に、昔に戻るとか、懐古的な人間関係を築こう、というのはちょっともう無理じゃないかな、やはり新しい価値観と新しい地域の連携と

いうものを、そろそろ作りだす時期になっているのではないか、そういう意味では大阪の天王寺区というところは、新しい価値観を作るには、住んでおられる住人の方も、ある程度の生活水準を持たれてる方も多いと思うんですけども、新しい価値観を創造できるんじゃないかと。一步、二歩、造っていく段階にあるのではないかと考えます。よろしくをお願いします。

○田中（創）委員

田中創三郎（たなかそうざぶろう）34歳、ここの住民では無いんですけども、勤め先がこの近くということで応募させて頂きました。歩くのが趣味でして、四天王寺の由緒あるお寺の参道が、思ったより活気が無いということに残念な思いをしております。そのようなところに、自分がたむろできるような喫茶店なり、店が増えていけばいいのに、という思いで参加させていただきました。足でかせぎたいと思っております。よろしくをお願いします。

○田中（英）委員

私も他市の住民ですけども、学園坂の夕陽丘学園の理事長をさせていただいております。夜は同志社大学大学院で公共政策を教えております。この街に仕事で来て5年、もう6年目に入っておりますけれども、天王寺に来てからまちづくり委員会の仕事とか、あるいは四天王寺のお祭りなどに関わらせて頂いております。学園坂は自転車道が出来ましたけれど、相変わらず反対側の歩道を暴走自転車が走ってまして、ケガをしそうになったり、ケガした人もいたりして。自転車道を作るだけじゃなくて、ソフトの方もきちっとやらないと造った意味が無いなと思っておる次第です。いずれにしても、これから皆さんと地域のために何が出来るかと言うことで、学校で勉強していることで役立てばと思います。よろしくをお願いします。

○田淵委員

田淵（たぶち）と申します。私も1歳の時から今59歳なんですけれども、58年間、天王寺区に住んでおります。ただし、地域には何の貢献もできておりません。これから高齢化社会になっていくということで、歳いっても自分のできることを、少しでも地域貢献したい、という思いで公募委員に応募しました。専門は建築の設計をやっております。主に学校とか病院とか、公共施設が中心でやっております。よろしくをお願いします。

○出村委員

こんばんは、出村肇（でむらはじむ）です。私は昨年金婚式を終えまして、今年は喜寿を迎えております。天王寺区にずっと居住しております、天王寺区の各種団体でも幅広く関わってまいりました。幸い健康にも恵まれておりますので、今後とも天王寺区政に協力できればと思っております。どうぞよろしくをお願いします。

○原田（久）委員

原田久仁彦（はらだくにひこ）と申します、44歳です。九州出身で、大阪に馴染みが深くは無いんですけども、就職して以降、約15年間住んでおります。天王寺区の方には

3年前に引っ越してきました、今回応募したきっかけといいますのは、社会貢献という部分と、ご協力できたら、と半分楽しみで参加させていただきました。専門は環境事業ということで、リサイクル関連、家電リサイクル法、容器リサイクル法など、仕事をしていましたので、何かありましたら、言っていただけましたら、やらせていただきたいと考えております、よろしくお願いします。

○原田（恵）委員

原田恵子（はらだけいこ）です。伊能忠孝さんが江戸時代後期に平均寿命が50歳から55歳ぐらいの時に、56歳から歩いて地図を作られたそうです。私も56歳で、これから一歩ずつ、また頑張っていきたいと思います。私は下寺町の出身で大江小学校、主人は聖和小学校の出身で、中学校は同級生で、結婚して、子どもは天王寺小学校へ行っております。ですから、天王寺中学校の校区のことしか、細かいことはわからないんですけど、私で気付いたことがあったら、1つでもお役に立ちたいと思っております。それと着物が大好きなので、着物が天王寺区に広まるように、落語とか着物に関係することも力を入れて頂いたらうれしいと思います。

○原田（照）委員

こんばんは、原田照久（はらだてるひさ）と申します。聖和地区で、会社は梅田の方でサラリーマンをしております。少しくらいはいろんな周りの人のために何か役に立てればいいなど。頼まれるとなかなか嫌といえない、という性格の関係でですね、青指（青少年指導員）とか災青（災害救助青年部）とか、現在は民生委員もやらせていただいています。あと聖和寄り合いまちづくりの代表をさせていただいております。今回ですね、強烈にやったらどうだ、っていう人がいてですね、応募させて頂きました。結構、この中で自分は歳いった方になると思いますんで、よろしくお願いします。

○飛田委員

飛田裕（ひだゆたか）と申します、59歳です。3つの時にですね、勝山1丁目というところに住みましてですね、それ以来、学生時代と、就職して10年くらいはいなかったんですけども、天王寺区に住んでいます。もともと土木屋でして、新幹線のトンネルとかですね、高速道路とか造ってまして、途中からリアル土木もおもしろくないな、と思い、デジタル土木の方に移りまして、今はコンピューター関係の仕事をしています。分析とか、耐震設計などもしておりますので、そういうところで役に立てればと思います。3~4年ほど前からですね、災害青年協力隊に入りまして、そんな関係で去年、今年と東北へボランティアに行きました。災害時の地域の協力というのに、何かできればと思いますので、よろしくお願いします。

○三木委員

三木（みき）ひとみと申します、よろしくお願いします。1男1女の母親なんですけれども、大学在学中に結婚しまして、子どもを育てながらずっと仕事を、翻訳と通訳をしてきました。高校の時にアメリカに留学したんですけども、教育でお手伝いができれば

な、と思っています。私も留学することによって、視界が広がって性格が変わったと言うこともあったので、天王寺区で成績が優秀な子の留学を、支援するような制度をおこがましいですけれども、提案したいと思いました。よろしくお願いします。

○事務局

ありがとうございました。また、議論に資する必要な助言をいただくために、天王寺区選出の市会議員の足高様、福島様にもご出席いただいております。本日は、お忙しい中にも関わりませず、誠にありがとうございます。

それでは、議題(1) 議長の互選、議長による副議長の指名に移らせて頂きたいと思えます。

議題(1) でございますが、議長を委員の互選により選出し、議長は議事を進行する、と定められております。議長を委員の皆さまの中から互選いただきたいと思うんですけれども、自薦、他薦どちらでも結構なんですけれども、いかがでしょうか？

○水谷区長

議論の進行役ですね、基本的な議事進行の流れと言いますか、こういうイメージですというのは、毎回こちらで用意するんですけれども、議長と言うことで、やってみたい、やってもいいよ、という、もしおられたら挙手いただけたらな、と思うんですけれども。

○事務局

議長に議事の進行をお願いするということになっておりますので、議長を決めないと進めないものですから、そこでご提案なんですけれども、議長と言うのは1年間していただくことが通常なんですけれども、今回は議長をどなたかにお願いして、次回は議長を決めるということで、今回はお名前順でいいましたら出水委員にお願いして、次回に議長を決めるということを事務局からご提案させて頂きたいと思いますが、出水委員、皆さまいかがでしょうか？ご了解であれば拍手をお願いいたします。

(拍手)

では出水委員よろしくお願いします。皆さまにご承認いただきましたので、出水委員に今回の進行をお願いしたいと思います。では、議長席の方をお願いいたします。

○水谷区長

今日は第1回目でちょっと、みんな誰が議長かっていうのも、本当はなりたがっている人も手を挙げづらい雰囲気もあると思うので、あいうえお順で申し訳ないんですが、出水委員にお願いさせて頂いてですね、暫定的な議長ですから改めて皆さんのコンセンサスを経て議長を選出するという事でお願いできたらと思います。

○事務局

では議長、議事進行をお願いいたします。今回、議事していただく内容については、机の上に進行的内容について参考となる資料をご用意させていただいております。ご参考にしていただいて、議事進行して頂ければと思います。ではここより議事の進行を議長にお願いしたいと思いますので、議長、一言ご挨拶だけお願いいたします。

○出水議長

突然決まりました、若輩者で、失礼なところもあろうかと思えますけれども、せっかくの場ですので、暫定の議長ではありますが、皆さん活発なご意見をいただければな、と思えます。私もいろいろな意見を聞きたいと思っております、そういう方もいらっしやるかと思えますので、ぜひよろしく願いいたします。

まず早速ですけれども、議題（２）天王寺区の強み／弱み、めざすべき方向性について、天王寺区にずっと住まれている方、最近引っ越してこられた方、いろいろな方がいらっしやると思えますけれども、天王寺区に対してのイメージでありますとか、強み・弱みと言うところで皆さまからご意見をいただければなと思えますので、よろしく願いします。こういうところが強いんじゃないか、弱いんじゃないか、というところがあればご発言いただきたいと思えます。

○事務局

では資料のご説明をさせていただきます。

ページ２の資料２、データで見る天王寺区がございますので、そちらに沿って説明させていただきます。順番に、人口増加率ということで平成 22 年度国勢調査ですけれども、平成 17 年の調査から 8.8%の増と、24 区中 6 番目に多いということで、人口が増加している元気な区と言うことが言えると思えます。次に人口構造としまして、15 歳未満の人口割合ですけれども、天王寺区の全人口に占める割合が 12.6%と、24 区中 5 番目に多い区であると。その次に 15 歳～64 歳人口割合につきましては、全体の 68.8%と 24 区中 7 番目に多い区となっております。65 歳以上人口につきましては、占める割合 18.6%ということで 24 区中 4 番目に少ない区となっております、意外とご高齢の方の割合が少ないのかな、ということが見て取れると思えます。

次に 3 ページですが、高齢単身世帯数、世帯率ですけれども、天王寺区は 3,572 世帯で 2 番目に少ない、一般世帯に占める割合は 10.3%と 24 区中で 5 番目に少ない区となっております。次に高齢世帯数・率ですが、こちらはお一人暮らしではないんですが、ご高齢の方の世帯となっております。全世帯に占める割合は 16.5%と 6 番目に少ないという統計となっております。

次に災害発生時の想定被害ですけれども、上町断層帯地震ということで、人的被害は天王寺区 573 名で 3 番目に多い被害が想定されるとなっております。次に 4 ページですけれども、東南海・南海地震の人的被害ですけれども、発生場所が遠いということもありまして、天王寺区は 0 名となっております。次に街頭犯罪 8 手口の発生件数ですけれども、天王寺区では平成 22 年中 1,101 件これは 24 区中 11 番目に少ないですけれども、23 年中発生は 801 件と 24 区中 9 番目に少ない発生件数となっております。こうして見ますと、発生件数が少ないように見えるんですけれども、区民 1,000 人あたりで見ましたら、22 年中発生は 15.7 件と 24 区中 4 番目に多くなっておりますし、23 年中発生は 11.2 件で 5 番目に多くなっております。次に待機児童数ですけれども、天王寺区は 23 年 4 月 1

日時点で17名と7番目に多いですけれども、24年4月1日時点では35名となっております。まして、これは市全体も同じく増えておりまして、24区中8番目に多くなっております。次の5ページ、学校・園数ですけれども、22年 学校基本調査資料からの抜粋ですけれども、下の表を参考にご覧いただきましたら、私立の学校が顕著だと思えますけれども、中学校ですと市全体で24校あるうちの5校が、高校についても市全体で37校あるうちの7校と、全体の5分の1が集まっており、非常に私立の中学校・高校が多い区であると見て取れます。次の事業所数・従業員数ですけれども、平成18年と古い統計資料しかなかったんですけれども、天王寺区は市全体の傾向と同じように、事業所数・従業員数ともに減少している傾向となっております。

次の住宅の種類ですけれども、持ち家率が市全体と比較して若干多く、公営の借家の割合がかなり少なくなっております。

次の住宅の建て方別割合ですが、1戸建の割合が市全体よりも低く、共同住宅の割合が市全体よりも上回っている、となっております。統計データについては以上ですけれども、こうしたデータから、伸ばしていくべき強みですとか、改善していくべきではないかという弱みですとか、今後の方向性につきまして、ご意見いただけましたらと思いますので、よろしく願いいたします。

○出水議長

ただ今の説明を受けて、ご意見ございます方おられませんでしょうか？

○飛田委員

天王寺区には私は以前から天王寺区に住んでいるんですけれども、数年前からマンションが建ち出してですね、旧住民と言ったらいいのか、昔から住んでいる人達とですね、最近来た人たちの交流が意外と少ないのかなと。小学校とか学校へ行っておれば親同士が知り合いになるとかあるんですけど、子どもが成人してしまっ、社会人になってしまっ、昔から子どもの友達だったお母さんとかお父さん方とは話もするんですけど、あまり人の顔がなかなか見えない。まして国勢調査を手伝わしてもらったんですけど、最近マンションなんかに行くと部屋番号は書いてあるんですけど、名前すら書いてないし、顔がなかなか見えないというのが1つあると思うんです。それと犯罪が少ないように見えるんですけど、人が歩いているのが少ない時間帯が長いのと、21時過ぎにあちこちで歩いている、たまにウォーキングしている人に会うんですけど、学校がいっぱいあるとか、お寺がいっぱいあるとか、公園がいっぱいあるとか、人口密度がそんなに高いわけでは無いので、人がいないところが結構多い。確かに文教地区というレッテルはあるんですけど、昔から住んでいる我々から見ると、僕らで作ったものではなくて、学校がいっぱいあって、塾がいっぱいあって、それに向かってくる人たちが多から、なんとなく区としてレベルが高いのかな、というイメージが強い。やっぱり永い間住んでいる人のイメージは、進学のために来られて、中学校や高校に行かれたら出て行かれる、というイメージを持っている。その辺は一番の問題だし、良い所のように、意外と悪い

ところでもある。

○出水議長

他にご意見ございますか

○栗谷委員

私の住んでいる天王寺小学校地区もそうなんですけども、地域の連帯といいますか、横のつながりが強い地区でございまして、子どもたちのために地域の大人の方が、夏休みには和歌山の天川村にキャンプに連れて行っていただいたり、年末にもちつきしたりとか、横の連帯が非常に強いですね。PTAに携わらせていただいて、現役の男性のPTA役員というのは非常に少ないんですが、地域の方の手助けが非常に強くて、夏休みとか夏祭りとかでも、だんじりを出して横のつながりを強めたりとか、結構マンションはあるんですけども昔ながらの横の連帯が非常に強い地域だと思います。実家は聖和なんですけども、同級生が結構離れて行って会えないというのがあるんですけども、マンションが増えて横のつながりがなかなかできていないというのが最近思いますね。私も夜よくウォーキングするんですけども、結構暗いところが多い。他の区に比べれば街灯がかなり多いと思うんですけども、天王寺は街灯が一番多いと思うんですけども。子どもたちも最近、公園で遊ばない。塾に行ったりとかで、夕方でも子どもたちいないですよ。そういう中でうちの学校の地域の方をお願いしているんですけども、登校の時には見守り隊という地域のボランティアがあるんですけども、下校時にも玄関の先に出て水やりをしていただいたりですね、ちょっとしたことなんですけども、抑止力というんですか、地域の人たちをお願いして家の前にステッカーを貼っていただいたりとか、PTAの方に自転車の前かごのところに見守り隊のステッカーを貼っていただいたりとか、街全体で子ども達を見守っていますよ、という雰囲気は天王寺区が一番強いかな、と思っています。

○三木委員

天王寺区に住んで2年ちょっとなんですけども、実感として富裕層が多くって、治安が良いと言われているという反面、富裕層が多いことで、他から空き巣に入るなど来るのではないかという気がしています。うちは勝山通にマンションがあるんですけども、犯罪が多くって、自転車のサドルが盗まれたとか、充電池が盗まれたとか、そういうことをよく聞くもので。その辺が、治安が良いのか悪いのか、ちょっとわからないかな。

○出村委員

今の関連ですけども、天王寺区の治安環境は、文教地区で環境は良いんですけど、ひったくりは6、7年前は不名誉なこと日本一になったことがあった。大阪が一番ひったくりが多い。中でも天王寺区が一番多い。街灯は増えて明るくなっておるんですけども、門灯もつければなお良いというように思う。ひったくりが多いのは、市内で所得がトップということで、そういうこともあるのではないかと、思う。

○出水議長

たとえば、天王寺区に永く住んでおられる方にとってのイメージと、最近来られた方、天王寺区のことをまだあまり詳しく知らない方が、実際に来られて持たれたイメージがありましたら、ご発言をお願いします。

○内本委員

天王寺に住んでまだ3か月なんですけども、結婚しまして家を買おうということになった時に、大阪市内で探していたんですが、不動産会社がPRしている点として、他の区では文教エリアというのとか、学校がいっぱいあって教育に良いという打ち出し方はなかったんですけども、どこの不動産会社も天王寺区に関しては文教エリアで、教育熱心なエリアであると大々的に訴えられていたことと、3.11以降、あれだけの規模の津波を目の当たりにした中で、天王寺区は大阪城に近いということもあって津波の被害とか、大きな地震の被害が少ない、というようなデータが出たということで、この2点がアピールポイントとしてあったということで、天王寺区にマンションを購入させていただいた。この2点がどの不動産会社も推されているので強みなのかな、と。

実際まだ住んで浅いんですけども、歩いて天王寺駅まで行けたりですとか、心斎橋まで自転車で行ける距離なので、頻繁に歩いているんですけども。大通りはすごく賑わっていて人があるいている、車の通りがかなりあるっていうイメージがあるんですけども、少し路地を入るとすごく暗くて一軒家で昔からあるような家が多いので、誰が住んでいるのか、人が住んでいるのかわからないような、極端な場面が多いなという印象を受けているので。そういった点でデータから見る犯罪率とか治安の問題と言うのは、あるのかなと思います。

○原田（照）委員

天王寺区に住んで30年ほどになるんですけど、まず学校が多い、文教地区というのはよく言われる。そこに住んでいると意外にわからないんですよ。他と比べてどうなのか。子どもとか、他の地区で住んで、そこらの子どもたちとそこへ行って初めて学校の先生方とか地域の人が非常に見守りの環境というか、いいのかなというのが外へ出て初めてわかると。そういう部分もあるんで、文教的には良い地区なんだと再認識したというか。それと聖和で16年くらい前になるんですけど、聖和の子どもたちを地域のみんなで守っていこうと、そういうふうな働きから、聖和フェスタというものを初めてんですけども、そういうことを持ちかけた際に、地域みんなが、それは良い、賛成してくれるというか同意してくれる。反対という人はいなかったですね。そういうふうな環境というか風土があるんだなというふうに認識しています。歴史的なものがいろいろある、それは皆さんご存じだと思うんで。そういうものを新しく来られた方もそうですけども、四天王寺はじめいろいろなお寺あるということ詳しく調べてみるというふうなイベントもありますけども、必要なと思います。あまり弱みというのは感じないんですけども、強いていえば、天王寺はお年寄りが多いというふうなイメージだったんですけど、統計見ると4番目に少ないんですね、ちょっと意外でした

○出水議長

実際に教育に携わっておられる観点からいかがでしょうか

○田中（英）委員

1つは、ここで4年半仕事をしていますけど、食事に行くにもどこに行ったら良いのか、お客さんを連れて行けるようなレストランがどこにあるのかな、と。あるいは、どこそこで会おうという時、どこであつたら良いのか、ヘソがあるようで無いんですよ。じゃあ、天王寺は、なぜ天王寺っていう名前が付いている人が知っている人がいるのかどうか、四天王寺というお寺はあるけど、四天王寺のことを知っている人がどれだけいるか。七夕まつりの時に、私、電話番したんですよ。駅まで来たけど、四天王寺までどうやって行けるか、という質問が、1分置きにひっきりなしにありました。京都で学生に「四天王寺ってどういうところか知っていますか」と聞いたら、四天王寺を知っている人は誰もいませんでした。じゃあ、今の四天王寺を大阪のこの地区の人に、四天王寺のお寺は昔から残っているものがあるか聞いたら、そういうことを知っている人はほとんどいません。聖徳太子の時からあるんだろうと言う人はいないとして、自分の地域のことをどれだけ知っているか、っていうことが、おそらく小学校の教育なんかでもされてるんでしょうけれども、郷土のことについてはもっと誇りを持って、興味を持って、もっと勉強したいとかっていうようなことができてくるかどうか、それを含めてまだまだやることはいっぱいあるんじゃないかって思います。

○越村委員

歴史的に加えて、お寺が多いので、緑とか自然が結構残っていたり、あるいは天王寺蕪っていう有名なものがあつたり、欲を言えば教育の一端として、もともと子どもの頃から自然に親しんで、自然に子どもにこういう知識があつて、ただ勉強ができるだけでなく、歴史とともに歴史と自然いろんなことに興味を持てる子どもを育てて行かないと文教地域といっても、違った価値観ではないかと。もちろん公立もこの地域はレベルが高いので、もっと総合的に、ノーベル賞の山中さんも出ましたけども、いろんな発想ができる子どもたちに情操教育というようなものを、ここの区ではできるのではないかなと

○栗谷委員

今おっしゃった天王寺蕪ですが、天王寺小学校でやっていた、4年生で。四天王寺の菩提寺の21日の日に出前勉強みたいな形で。先日も天王寺蕪の研究をされている難波りんご先生が来てくださいますして、天王寺蕪発祥を勉強させていただきました。聖和小学校と天王寺小学校の校章というのが、天王寺蕪を切ったものが校章となってます。そういう面では歴史を踏まえて すごく良いと思います。さきほど原田（照）さんからの聖和フェスタ、天王寺もてんまつりというものをやっておりますして、皆でそれぞれの団体がブースを出しまして、今度11月13日に行うんですけども、「みんなやろう」って言ったら、「やろうやろう」という地域なんですよ。ですから、そういう面ではすご

くまとまりがあって、1つやることを決めたら、毎年続けてやろうかという、横のつながりの絆の強い地域だと思います。

○原田（久）委員

天王寺区に来て3年ですけれども、病院が多い。病院が行きやすいかどうかというの、また問題はあるんですけども、医療関係というものに非常に安心感がある。まだ子どもがちっちゃいで、何かあった時にしていただけるというのは地域の良いところだなと思います。主婦の人の意見をお聞きしたいんですけども、自転車で回れるところにスーパーマーケットがたくさんあるな、と。だから食べに行くお店っていうのはなかなか、というのは確かに思ったんですけども、生活をするという意味ではスーパーは遅い時間まで開いているところも多いので、便利がいいかなという強みはあるんです。生活のしやすい都市機能を持った地域なのかな、と思うんですけども

○田淵委員

先ほどお話あったんですけども、最近マンションが多いと。これからも恐らくその傾向は変わらないと思うんです。おそらく聖和地区とか天王寺小学校区とか、地域の結束が強いところではマンションの（町会）加入率が高いのではないかと、思うんですが

○栗谷委員

私のマンションは管理組合として地域の振興町会に入っています。ただほとんどのマンションは入っていない。

○田淵委員

比率が高いんだと思うんですよね。それで災害にしても高齢者の問題にしても、福祉の問題にしても、町内会が良い悪いかという議論は横に置いて、やはり地域に住んでいるわけですから、地域に住んでいるということは、マンションに住んでいようが、一戸建に住んでいようが、関係無いわけですよね。できるだけ町会の加入率を高めていく努力というか、いろんな角度からやっていくことが一番近道なんじゃないかなと思うんです。資料に目を通しておったんですけど、防災をやって町会未加入のマンションに出前というか、3件あってというのが載っていて、そういう機会に町会に入りたいな、というようなことを説明したらいいんじゃないかなと。これは天王寺区の今後の良さでもあり、次の課題としてもあがってくると思うんです。

○水谷区長

今、町会加入の話が出たから、今のこのデータで見るてんのうじに載っていないデータが手元にあったので、ご報告しておきます。天王寺区全体では町会加入率 51%というふうになっています。地域によってバラバラなんですけども、7割超えているところは例えば桃丘とか五条ですね。一方で、生魂 12.8%で天王寺 30.6%、だいたい 12%から高いところで 75%くらいの幅があって、全体でならずとだいたい 50%になる。こうやって見ますと、どうしてもマンションが建設進んでいるような地域だと、町会加入率も相対的に低くとどまっている、という傾向が見られるのかな、と思います。

○神崎委員

町内会の今の議論でいいますと、入る方が良いような印象を受けるんですが、例えば印象でいいんですけれども、区長のおっしゃった町内会加入率の高いところ、低いところ、で犯罪が多いとか少ないとかありますか？印象でもいいんですけれども

○水谷区長

犯罪発生率との因果関係は手元にデータが無いわけなんですけれども、ただやっぱり町会加入が進んでいる地域というのは、各種の地域活動が盛んですね。だから防災とかについても、避難所開設のワークショップであるとか、防犯防災活動とかやっぱり水準高く続けられている傾向がございますので、原田（照）委員の聖和まさにならぬわけなんですけれども、明確にデータでこう、というのはお示しできないんですけれども、地域で犯罪を許さない、防災をちゃんとキッチリやるというのが見える形で継続されている、というのがあってしょうね

○栗谷委員

町会にしても目的がわからないんですよ。やっている方は、やってる方で、結構見て、ご老人ばかりの集まりという感じでしか見えないんですけども、私も今やっているんですけども、やっている人からしたら、会計とか嫌だな、でも回らないといけなと母がいつてますけど、何のために集金に回っているのか。じゃあ私辞めます、というのが結構多いんですよ。何のための町会やっていると、第1回目の区政会議からやってきて、考えると、災害の時の保険だと。何かあった時に避難所に行って誰誰さんがいない、じゃあみんなで捜しに行こうっていう何か示せるようなものがあれば、もっと可動率も加入率も増えると思いますしね。そういうもっと具体例をもっとインフォメーションしていけば、稼働率増えると思います。やっぱり町会っていったら、付き合いやから何かしないといけない、そういうような若い人、PTAも同じですわ、何か入ったら付き合いしないといけないとか、それはそれでいいんですけども、もっと何かやはり具体的な事例を出してですね、災害の時にはみんなで一緒にできるんです、保険です、という具合に、バシッとしたインフォメーションが、これからは必要やと思いますね。若い人はもう見て見ないふりというか、もうそんなんいませんわ、というそういう意識を持ちすぎですね。やっぱり考え方を変えて行った方がいいと思うんですね

○田中（英）委員

三木委員と内本委員にお聞きしたい。家を決める、どこに住むか、という時に区を考えたか。大阪市に入ってきた、仕事で来た時に、どこに住もうかと思った時に、区で選んでいるのではなくて、どういう地域であるかということで選んでいる。それはたまたま住民票を届ける場所は区役所ただただで、普段の生活の中で区役所を意識することは、ほとんど無いと思います。ということは区役所の存在意義が住民に伝わっていない、したがって町会に入るのはおかしい、市民税を払って市がちゃんとサービスして決めたリーガルなのに、なぜそういうところに入らないといけないの、と。正しく指

摘する人の普通の感覚だと思うんですね

○三木委員

私が天王寺に引っ越してきたのは、子どもの教育環境を考えて、誰が教えてくれるわけでもないで、インターネットで探して天王寺区が良い地域だということで、なんとなくその情報で来たんですけれども、実際に来てみて、すごく小学校、公立なんですけども、レベルが高いというか、勉強ができる子が多いというイメージがあります。でも、私は逆に町内会に入りたいと思うタイプなんです。ただ、うちのマンションも町内会に加入してなくて、なにかしらの費用はマンションで払っているから加入しなくていいですよ、みたいなこと説明されたんですね。でも逆に入りたいなと思ったんですね。そういう、横のつながりだとか近所の方と仲良くなったり、防災の時に助け合ったりとかしたいんで、マンションは入ってないってなると、自分からどこかに働きかけてまで入るか、というところまでのエネルギーは無いんですね

○河村委員

町会に、この中で入っている方、手を挙げてもらえますか？結構いらっしゃいますね。町会に入るのにお金を払わないと入れない、毎月払わないと入れない、というのがありませんか。お金を払わないと回覧板も回ってこないんですね。町会加入者じゃないと。1つの街としてみんなで生活しているのに、お金を払ってないから町会じゃないと。正会員と準会員というのを作って回覧板を回すというのが普通じゃないかと。いま、いろんな地域での町会加入のお話を聞いていると、正会員と準会員というのを作っているところはあるんですけど、半額にしてるとか、マンションなら半額にするから入ってくれ、お金だけを頂戴という話をすぐされるので、ちょっとおかしい

○三木委員

河村委員のご意見にすごく賛成です。PTA も本来、任意加入の団体だと思うんですけど、みなさん PTA に入らないといけないと思って、会費も払わないといけないと思って、やると思うんですけども、任意加入なので PTA も、PTA 会費を払っていない子どもを PTA が主催する行事に参加させない、そんなことはできないと思うんです、人権上。ですんで、町内会に対しても、うちは加入していないよっていうところでも、回覧板をまわすとか、いつでも参加できるような仕組みにしておけば、町内会費も払って積極的に参加しようかなっていう人も出てくるのかなと思います。

○田中(誠)委員

ちょうど区長がおられるんで、1つお願いしたいんですが。今の形の町内会というのは、崩壊していったる訳です。ですから新しい形と言うか、新しいものを作っていないといけない時代になってきているわけです。今までのものを何か是正すれば会員が増えていたわけですが、これは限界なんです。ですから、今までのものをベースとするのは構わないですが、今までの形でなんとか加入率を上げようというのは、ちょっと若い人とのギャップができすぎていて、マンションの住人と戸建ての住人とでギャップができ過

ぎてて、そこに無理なのかなと思うんですね。区長はじめ、区役所にお願いしたいのは、やはり区役所の仕事は旗を振ることだと思うんですね。つまりビジョンをしっかり示して、こういう区にしたいんだ、教育をこういうふうにしたいんだ、街をこういう犯罪から守りたいんだ、こういうふうにみんなが幸せに暮らせる区にすべきでしょ、というご提案が区のホームページとかであるべきだと、ところがホームページ見ましたけども、ちょっとわかりづらい。そこに大きな旗印を投げかけることが重要なんだと。そこを担う組織というのが、いま無いように思う。うちの区だけではないんでしょうが、そこがすごく大事な気がするんですね

ですから、そこを立ち上げて、なおかつどういうふうにして地域の再生と言うか地域のコミュニティの再生というのができるのかということを新しい目線で立ち上げていかないといけない。

○水谷区長

おっしゃられたとおりだと思いますね。やっぱりビジョンを示すことというのは、まさに私、区長として責務であるし、やるべきことだと思いますから、それはやらないといけないと思います。新しいコミュニティって今おっしゃいましたけども、町会が直ちに時代にあわない、ダメだ、っていうことではないと思いますね。たしかに町会加入率 50%と、それは大阪市平均に鑑みても他と比較して低い状況はあるのかもしれないですけど、逆にいえば 72,000 人のうちの半分の方が支持してそこにおられると。じゃあコミュニティへの参加率というのを高めていくためにどうやったらいいか、というのを地域も地域、町会も町会で考える、我々としてもお手伝いできる場所はお手伝いすると。ただ、やっぱり一朝一夕ではですね、50%加入率が 80 になったり 90 になったり、というのは現実的に不可能だと思うんですね。じゃあそういう状況の中で仮に上町断層帯の地震が起きたらどうしましょう、大規模な災害が起きたらどうしましょう、町会に入っていない 50%の人はセーフティネットから切り離されて、それでいいんでしょうか、というと、それは絶対ダメなわけです。行政としてやっぱり、もちろん町会をベースにした災害物資の配給とか、そういう安全管理をしないといけないわけですが、でもじゃあ町会に入っていない人を切り捨てることのないようにですね、町会非加入、加入者を越えて、防災のグランドデザインをどのように図っていくのかっていうことをですね、検討していかないといけないということで、今日このあとで区の防災計画のたたき台をご紹介もさせて頂くんですけども、もちろんそれをベースにですね来年度の予算編成も今まさに始まったわけですが、区役所の中でも侃侃諤諤（かんかんがくがく）の議論を続けておるところでございます。せつかくですね防災の話とか各論に入ってきたので、議論もだいぶヒートアップしてるので、そろそろ思いっきり皆さん各論で具体案をぶつけていただけたらと思うんですが、議長、第 2 部への移動いかがでしょうか

○出水議長

30 分ほどおしてしまっって、せつかく熱くなってきたところで申し訳ないですが、次に進

ませていただきまして議題3に進みたいと思います。

○事務局

それでは資料の方でいいましたら6ページ以降です、細かい資料で申し訳ございません、平成24年度の天王寺区の事業概要ということで、ここにあげておりますのが天王寺区役所の全ての予算の内訳となっております。ただ括りがですね、かなり大きな括りとなっておりますので、全部読んでいただいても、何をしているのか、ということがわかりにくいところもありますので、しかも市民協働課の所管事業といいましたら、米印を付けさせていただいているんですが、合計36事業ございまして、それを全てご説明するのは難しいかなと思いましたが、資料10ページ以降ですけれども、主なものについて抜き出しまして、ご説明させていただきたいなと思っております。基礎自治に関して一番大事なものは、区民の方の安全安心に関わる事業ということもありますので、資料4-1 防災について家具固定ワークショップの取組、その次のページには資料4-2 防犯に関する取り組み、14ページには迷惑駐輪防止の啓発と環境づくりについての取組、16ページには区民の自主的な学習や文化活動、生涯学習関係の支援ということで4つをお示ししまして、ご説明させていただきたいと思っております。この様式全ての共通しておりますのが、例えば10ページをご覧いただきたいんですけども、3のところに経費としまして23年度決算額というのがございます。こちらの人件費②ということで金額を書かせていただいているんですけども、23年度の決算ベースで職員が1名どれくらいの人件費がかかるのかという点で平均784万9千円となっております、それが何人分相当するのか、ということで金額を入れさせていただいております。

○水谷区長

ですから、この際、人件費を考え始めると、たぶんややこしくなると思うので、例えば迷惑駐輪の防止啓発だったら、その事業をやるのに358万円かかりましたと、例えばその358万円が適正な金額なのか、ここ減らしたら、もっと他に50万円を使うことができるんじゃないの、あるいは358万じゃ足りないから、こういうことをするために、もうちょっと予算を積み増したらいいんじゃないの、とか、そういうご意見も伺えたらと思っております

○事務局

では、それぞれの資料につきまして、ご説明させていただきますので、よろしくお願ひします。

○小川課長

みなさんこんばんは、市民協働課長の小川と申します、どうぞよろしくお願ひいたします。防災を担当しているということで、私の方から10ページ、11ページの家具固定ワークショップの開催ということで、ご説明させていただきます。阪神淡路大震災の時の死因というのが、家屋の倒壊や家具の転倒などによる圧迫死が全体の88%を占めていたということもございまして、また南海・東南海地震とか長周期地震動についていまして、非

常に長い間揺れるということで、特に超高層マンションの方につきましては、ガワは大丈夫だけどナカは家具固定してなかったら家具が倒れたり、ガラスが割れたりして亡くなられたりケガをされるというのがありますので、災害時における自助の取組の促進ということで、家具固定ワークショップを開催させていただいております。11 ページにどのようにやるか、ということで、お写真もつけているんですけども、実際 6 人くらい 1 グループになっていただきまして、まずは大阪市の被害想定 of 把握ということで、ビデオとかスライドによる説明をさせていただいております。そのあとグループにわかれまして、自分の居間とか寝室とか一番永くおられるところ、もしくは家具をいっぱい置いていて危険な箇所ということで 1 つ選んでいただき、そこに家具の模型ということで、それぞれこういう写真ではわかりづらいかと思って持ってきたんですけども、自分の部屋、四畳半ですとか六畳ですとか囲っていただき、そこにタンスを置いてます、テレビを置いてます、ということで、これを発砲スチロールで作ったものなんですけれども、ご自分の居間、寝室を作ってください、これを揺すっていただき、家具の固定をしていなかったらどうなるかということで、あとご参考に見ていただいたらと思うんですけど、こういうのをやっていただき 11 ページの上の左の方に皆さま方のやっていただいた作業状況が載ってるんですけども、ここに色々シールをつけていただき、家具を固定してますか、していなかったら赤いシールをつけましょう、観音開きの食器棚がありませんか、観音開きにフックをつけていますか、つけていませんか、つけてなかったら黄色のシールをつけましょう、ということで、皆さんそれぞれ点検をしていただき、そのあとグループ討議に入っていただきまして、安全確保するためには、どうしていったらいいんやろうか、その中で家具を固定するグッズなんかにも実際にご覧いただきながら、ここはこういう L 字型金具をつけたらいいよね、ちょっと滑り止めのマットを置いたらいいよね、ということで、皆さま方でまた確認をしていただき、そのあと家に帰ったらすぐに実行できるよね、ということで確認をしていただいたあと、アンケートのハガキをお渡ししまして、実際に回答していただいた時に家具を固定しましたか、していませんかということで結果を頂戴しているような家具固定ワークショップとなっております。

10 ページの 1 の目標というところで、家具の固定率は平成 28 年度までに世帯数の半分くらいをめざすということなんですけども、実際、平成 23 年度の区民モニターの調査結果を見ますと、37.7%であると、で今のところ地域防災リーダーといたしまして、災害の時に地域の方で活動していただくということで、区内の 185 名おられるんですけども、その方が主体となった開催とか、職員が主体となったということで、町会未加入マンション等へ主体的に行ってるんですけども、昨年度より 6 回開催させていただいたんですけども、5 の自己評価のところ参加者へのアンケートということで回答はいただいているんですけども、実際にワークショップ参加後に家具固定を実践している方が 5 割くらいであるということで、家具の固定率は低迷しているということもございますし、また

実際に事業環境の変化 7 で書かせていただいているんですけども、実際に家具を固定しないといけないということはわかったけども、一人暮らし、とか、お年寄りの世帯、ということで、家具は実際に自分では固定できないからなんとか手伝ってほしいな、というようなご意見を頂戴したりとか、また家具の固定グッズの入手場所がわかれへんとかいうことが課題として皆さま方のご意見いただいておりますのと、家具固定ワークショップをやったあとにハガキをお渡しして回答いただくようにしてるんですけども、回答いただける方が 3 割くらいであるということから、そのような課題が今のところ見えているような状況でございます。私からは家具の固定ワークショップということで、ご説明は以上なんですけども。

○水谷区長

これ 85 万円の主な使い道というのはどんなものでしょう

○小川課長

主な経費内訳ということでワークショップの運営ということで、業者に委託をしております。59 万 4 千円と、ワークショップやりますよ、と区の広報紙に掲載するんですけども、その掲載料として 26 万円ほどということで計上させていただいております。

○神崎委員

この家具固定グッズ 1 ついくらくらいするんですか？

○小川課長

ものによるんですけども、資料持ってきていないんですが

○神崎委員

町内会を通じて配ったらどうですか？

○小川課長

配っても、実際に取りつけるのに 1 人では無理ということや、滑り止め入れたりするのはできても

○神崎委員

家具固定が大事ということはわかってるんですけども、町内会を通じてやれば町内会も新しいネットワークができると。配った方がよっぽど早いんじゃないですか。平成 28 年度まであと 4 年ですよ

○小川課長

グッズにもいろいろありましてね、タンスにつけるんだったら、つかえ棒だったりとか、L 字型金具であったりとか、それぞれ用途とか使用する箇所によって違うので、どれを配ったらいいのか、というのはありますね

○栗谷委員

2~3 年前に天王寺小学校に来ていただいて、やらしていただきました。自分の家を真似して（発砲スチロールで）作って、やったら（家具が）倒れてケガしました。やっぱり自分に置き換えてやるというのは非常にわかりやすくてでね、私帰ってすぐ固定しま

した。やはり実体験はよかったなと思いました。みんな来た人は、それぞれ自分の家のミニチュアを作って「わ〜ケガした」とか、そういうのがあって、僕はやって良かった、行って良かった。実際に帰ってすぐ買いに行って、吸盤タイプのものなんですけどもテレビにつけましたし、即やりました。特にマンションにやってもらった方がいいと思います。加入していないマンション等ありましたら、管理組合に窓口になってもらって特に高層のところはやってもらった方が、桃陽地域なんて多いですから、やってもらったら有効やと思いますね

○神崎委員

やった方がいいんでしょうけど、ただ費用対効果ですね。達成 50%ということになれば、町内会を通じてしていけば、よりコミュニケーションも生まれて、費用対効果もあがるのでは？ワークショップはやった方がいいとは思いますが、でも効率を考えると。

○水谷区長

そうですね、よく地域の方と話してて、例えば防災の時、自助が大切だと、自分で自分の身をタスク・セルフ・ヘルプが大切だということは、よく聞くんですけども、実際どれだけの備蓄をしておいたらいいとか情報が錯綜しててわからないっていう声もよくあるんですね。じゃあ備蓄する品目はこういうもので食糧なら 3 日分とか、緊急連絡先、下水管破裂したらここ、ゴミが大変だったらここ、とか、これらをまとめた 1 枚ものを作って、これを冷蔵庫に常に貼っておいてくださいね、とか、そういうのを全戸配布することはイメージ湧くと思うんですけども、いま神崎委員おっしゃったような各住宅の家具の設置状況、スペースとか家具の形状とか、小川の方から申し上げましたけれども、必要な固定部品も違うから、それを家庭状況を集約したうえで全戸に配るっていうのが、なかなか難しいところだと思うんです。でも神崎委員おっしゃったように全ての人にセーフティネットが行き届かないなんて意味が無いところだから、何かからすればいいかということになって時に、私として考えていること、区役所として考えていることとしては、1 番そういうセーフティネットからこぼれ落ちかねない人から助ける、じゃあそれ誰かって申しますと、先ほどデータで見るてんのうじの中で漏れ落ちていたわけですが、天王寺区の 65 歳以上のお年寄りの方の実に 4 割、半分近くが独居で暮らされている方なんです。こういう方の中には認知症を患っておられる方とか事理弁識能力等が欠けておられる方もおられると、おういう方がですね、ワークショップやったからって家具ちゃんと固定してくれるかと、そういう保証は無いわけですね。例えば我々の方としては出前型の町会未加入マンションとかに伺って、防災情報をお伝えして、ご本人の許諾を取ったうえで、ご家庭に上がらせていただいて、家具固定できそうなものからやってあげるとかですね、そういう形で先鞭つけてやっていってですね、これを広くやっていけたらいいかなというふうに考えております。

○内本委員

このお話うかがいまして、自分がもしこの家具固定ワークショップが開催されていると

いう情報を得た時に、行くかと言われると、たぶん行かないと思う、というのは震災が起きる、津波が起きる、いろんな自然災害が起きた時にケアしないといけない部分は家具固定だけじゃないって思ってるからなんですけども。たぶんたくさんいろんな要素があって、いろんなことが足りない、でもこれは自分自身が経験しない限りはイメージがつかなくて、あとあとになってしまっただけで結局自分が体験した時に、その現実を知るのが多くの方だと思うんですね。東京の方でも3.11でかなり影響があった時に、それをリアルに実感したんですけども、こういうワークショップをされるよりかは、どちらかという、1つの冊子で例えば、どういった備蓄があるのか、どういった家具固定があるのか、震災もしくは津波に備えて、こういったことをカバーするために、こういった業者が大阪市内もしくは天王寺区内にあって、ここへ連絡すれば、その部分に関しては解決できるのかわからないですけども、そういうものが天王寺区ならではの1冊になっていて、それを投函していただいた方が、いざってなった時に自分で電話もできて、自分で解決もできて、私はいいかなって思うんですね。この家具固定1つ取っても、どういった業者があるのか、わからないですし、どこに売っているのかもわからないですし、各家庭によってサイズなのか、いるものとかも変わってくると思うので、やっぱり災害という大きな枠組みの中で、本当にこういうところにこういうものを頼めるというものを、一覧となったものをタウンページじゃないですけども、天王寺区として作っていただいた方が本当に自分で自分の身を守り、自分で対策ができて、自分のお金を使ってできるのかなって思います。

○小川課長

あとでご説明させていただく、防災計画という名称変わるかもしれないですけども、この中で家具の固定の対策とか、どこに行ったらありますというのも入れてはおるんですけども。まだこれは配付をしておりませんで、これからご意見をいただいて充実していこうと思ってるんですけども。

○内本委員

そういうものが1冊家にあつた方がいいかな

○田中(英俊)委員

私、海外の経験があるんですけども、行った時にどういうふうに生活していいか、ほとんど情報が無い中で、何年かいた時にやったことが、「生活のしおり」というものを日本人会で作りました。それを日本から来た人に配って。天王寺区にやってきて、区役所に住民登録した時に、この地域では防災も含めて買い物とか、いろいろな情報が必要だと思うんですけども、生活に必要な情報が、天王寺区の住民のために天王寺区が推薦することが適切かどうかはわかりませんが、区でやれないんだったら町会とか連合とかかするとか、そういうことを今言った情報も含めて1冊用意したら、既存の住民にとっても、新しく入ってきた住民にとっても非常に生活しやすい、やさしいところだなというように思います。

○出水議長

議長の僕が聞くのもあれですが、広報紙に26万円かけて掲載されて、どのくらいの反応があったんですか？

○小川課長

区の広報紙は新聞の6大紙に折り込むのと、希望者にポスティングして配布しているんですね。家具固定の申し込みが広報紙に掲載したからといって増えるというわけではないんですけども。広報でどれだけ効果があった、というのはちょっと把握しにくいところだと思います。

○出水議長

チラシとかポスターを置いたりしたんですか

○小川課長

ホームページに掲載とかですね

○出水議長

マンションに住んでいますと、年に1回防災訓練が義務付けられているんですね。消防署に行く機会があるんですけど、消防署でそういうチラシがあれば、情報が回る、管理組合には届くというイメージはあるのかな、と思うんですけど。皆さん、たぶん必要な、大事ななっていう思いはあると思うんです。あとは、いかにそれを届けることができるか、と思うんです。

いろんな例えば区ホームページや広報紙に掲載すればうまくいく、というものではないとは思いますが、いろんな広報手段を使って区民にぜひ知らせしてほしいなと思います。

○小川課長

そうですね、広報の1つに効果があるものに口コミというものがあると思いますので、皆様方にぜひ「区役所でこんなやっているよ」というのもお知らせいただければと思います。

○原田（恵）委員

私もこのワークショップに行ったんですけど、模型でやってみて、死ぬとわかったんですけど、その後、家具固定を何もしませんでした。それで、いろんな意見としては、「起こったら起こったときのことやで」と。それで、本当に危ないんですけど、なかなかお年寄りがタンスを動かすのも無理ですし、その時は頭でわかっているけど家に帰ると忘れてしまうんですね。だから結局、私は玄関にリュックサックを置いていても玄関が潰れてしまうかも知れませんし、一家に1つは冷蔵庫ありますよね、冷蔵庫ってわりと潰れにくいと思うので、自分の情報を冷蔵庫の中に入れておく、というのが市でやっている事業であったんですね。救急車が来たときにまず冷蔵庫を開けて

○水谷区長

安心安全カードみたいなやつですね

○原田（恵）委員

そうです。自分の飲んでいる薬とかを書いて、冷蔵庫の中に入れておくというのがあったんですね。それともう一つ、さきほど町内会のことが出ていましたけど、町会に入りたいというのは、地域の人と仲良くしたい、というのがまず第一だと思うんですね。仲良くしたくないのなら加入は任意だから町会に入らなくてもいい、仲良くしたかったら自分がおのずと町会に入れてください、と言いたくなるような町会でないといけないと思うんですね。

まずは近所の人に、知らない人でも挨拶する、そして子どもの犯罪でも、この子はどここの子やってわかっていたら、それをみんなにわかってもらってたら、知らない人が連れて行こうとしても「〇〇ちゃん、どこ行くの？」と声をかけるなど、犯罪も防げると思うんですね。まずは、「汝の隣人を愛せよ」じゃないですけど、自分の隣近所のおじいちゃん、おばあちゃんは、お父さん、お母さんだと思って大事にして、仲良くすることがまず大事だと思います。もう一つ、今住んでいる大岸町会は素晴らしい町会で、オープンハートというか、引っ越してきたら優しくしてくださるんですね。以前に住んでいたところは、回覧板が回ってきて、年末の防犯の見回りをしますとあったので参加してみたら、「知らんものが何をしに来たの？」というような冷たい町会で。町会のトップに立つ人によって、町会加入率も全然違うと思います。別の子ですけど、町会の会費を私用に使いこんでしまったり、流用したり、同じ人が長いことしていて、会計を自分の好きなようにする、宴会しても上の役の人だけが楽しくお弁当食べたり、会議をしたりする。そういう町会は、みんなわかっていて町会に入らないと思います。町会をもっとチェックして、お金の流れまで入っていけるかどうかわかりませんが。町会長さんが、その町会の人を大切に思ってくれているのか、というか、すごく上に立つ人にすごく影響されていると思います、経験上から。

○神崎委員

町会も選べたらいいですね

○原田（恵）委員

そうですね、同じ人がずっと何十年もしていて、その人が良い人だったらいいんですけど

○河村委員

家具固定ワークショップの事業実績が6回ということですが、なぜ6回だけなんですか

○小川課長

業者へ委託するのが6回ということになってしまて

○河村委員

参加者をなぜもっと増やせなかったんですか？59万4千円を参加者102人で割ると一人あたり5,800円になるんですね。もし5,800円払って来てくださいね、というのであれば、たぶん誰も来ないですよ。なおかつ、家具固定してくださいね、というのはわかる

んですよ、でも、先ほどもありましたが、高齢だから家具固定できないとか、どんどん家具固定してもらおうと思うのなら、まず町会とか、今度、地域活動協議会も発足してくると思うんですけど、そういう中で災害救助青年部とか、災害リーダーが1つの事業として、こういうワークショップを開催して、家具固定も込みで固定グッズを販売してもいいんじゃないかと思えますけどね。なおかつ、ちょっと高いなど。

○小川課長

これも事業環境の変化のところに書かせていただいておりますが、最初は委託業者が進行、調整役までやっていたのを職員がやるようにしたり、地域防災リーダーがやったりとか、削減を図ってきているんですけど、おっしゃるように効果の面からみても、しんどいかな、というのはあります。

○河村委員

うちの自治会で災害の防災やらしてもらったじゃないですか、その時ワークショップも一緒にしませんかと言われたけども、参加人数が多かったら逆にできなくなっちゃうんです。ワークショップを撮影したビデオなどを区役所で用意してもらって、それを映像で流したら効果があるんじゃないかなと思う。

○水谷区長

ビデオいいんじゃないですか。ワークショップでやっているところを映したものを。見せるのが1番の目玉のところですからね。

○小川課長

家具固定している時と、していない時の、震度7位の揺れで見ていただいて、皆さんが驚かれているところあるんですけどね

○田中（誠）委員

ホームセンターにそういう資材を提供していただいて、そういう場を提供していただくと、その代わりに区広報紙に宣伝を出してあげると。一種のボランティアですね、ボランティアとして入っていただければ、費用に関してはタダになるんじゃないかと。少なくとも節減できるんじゃないか。例えば、こういうことは法的にはできないとか、内本委員にお聞きしたいんですが、企業としてアピールに乗ってきていただけるものなのかどうかを、お聞きしたいんですけども

○内本委員

企業のPRという観点でスポンサーという言葉が使われると思うんですけど、企業が逆にお金を出してまで、市民が集まる場所に出さしていただいて、自分たちの商品をアピールするという方法もありますし、逆に行政の場合ですと、企業がお金を払うことができないケースなどもあるので、そういった場合は、企業の商品を大々的にアピールした看板を出す代わりに、こういった場は無償で企業が参加できるようにする、ということはいくあることだと思います。天王寺区としてどこまでできるのかは、法的にわかりませんが

○水谷区長

できると思うんですよ

○内本委員

逆に企業アピールの場で、人が集まる、人が見に来る、人が企業を注目してもらう、ということに企業は苦心されているので、そういったものを行政がどんどん積極的にされると。

○水谷区長

集まる人のセグメント化が図られていると、なお良いですね。CSRとか広告っていう絡みで、行くことは可能でしょうね

○田中(創)委員

今の田中(誠)委員の意見すごく賛成で、企業を絡ませるということは大事だと思います。ワークショップへの参加者が少ない、というお話もあったんですけど、ワークショップっていう名前が、勉強しないといけない感じがして。企業が入ることで、取り付け簡単家具物産展とか、お買い物みたいな感覚や、遊びみたいな感覚を、もうちょっと取り込めば。そうすると、もうちょっと参加率も高くなるし、企業に費用を負担してもらえる可能性が出てくると思います。

○田中(誠)委員

例えば企業としても商談として成立するわけですよ。例えば独居高齢者で家具固定できない、じゃあ取り付けましょう、工賃はいくらです、という形があればそこで成立するんですよ。独居高齢者に対して、そういうアプローチをするのであれば、町内会がそれを把握されているでしょうから、そうすればおそらくスムーズなお話ができるんじゃないかなと

○飛田委員

町内会で役をやっているものからするとね、便利なんですけどね、何かあったら必ず町内会に言ってこられましてね。誰が保障してくれるのか。天王寺区が全部してくれて、保険も入ってくれて、やってくれるんなら、そういう紹介もいいんですけど、もし何かあった時にね、例えば地震が来て家具が倒れましたと、どうしてくれるのか、と。こんな時代ですから、町内会が入ると絶対に言われる。じゃあ、だれか担保してくれるんならいいですよ、保障会社がいるとか。でないとやりにくいのは確か。先ほどのお弁当のことも言われるのに、取り付け業者のあっせんを町内会でやるとなると、「あんたら業者と何かあるんやろ」と絶対に言われると思うんです。

○田中(誠)委員

やっぱり区役所がやるべきことだと思うんですよ。決算等を信じるしかないかもしれないんですが、キッチンとした業者とコラボレートして、あっせんではないんですけど、許可をおろすという

○水谷区長

法的には可能です。適正な手続きをとれば、たぶん業者とのコラボで防災対策をやると、いくつかアプローチあるかと思うんですけど、私として一番イメージがわくのは、先ほど田中（創）委員がおっしゃったような、なんかワクワクするような、また来たくなるような、足を運びたくなるようなイベントの企画立案だと思うんですね。いま防災対策にことに関して言えば、行政よりも民間企業の方が、ある面で進んでいる部分があると思うんですね、例えば特定企業の名前を出して恐縮なんですけど、Yahooさんあるじゃないですか、プレスリリースの一覧を見ていると、プレスリリースの頻度が週に10回20回が多いということもさることながら、防災とかソーシャルな事柄での発信が非常に多いですね。先だっても六本木ヒルズでソーシャルネットワーキングサービスですね、今フェイスブックとか、ツイッターとかありますけども、ああいったインターネットのサイトを通じて防災訓練をやります、というので集客したりとか、こういうような取組をどんどん進めることというのが非常に重要だと思います。

それからですね、これはまだ私の構想段階なんですけども、自衛隊と連携して上町台地での防災対策やりたいんです。例えば、私も自衛隊の関係者、防衛省の関係者と話をさせていただいておりますと、炊飯車とか持っているんですね、自衛隊。一度に300人分の食糧を炊飯できる。

それを使って炊き出しとか、マンションもいっぱいあるわけですから、ヘリを着陸させるデモンストレーションを行ってみるとか、そうしたらビジュアルにも訴えかけるわけじゃないですか。有事の時にはこうなるんだなと、そういう、ちょっとはみんながワクワクとなるような、ちょっと行ってみようかなと。初めから勉強会、ワークショップってバーンと敷居を高く構えるんじゃなくて、敷居を低くしたうえで、取組ができれば素晴らしいんじゃないかなと思って。今、田中（創）委員のお話を聞いて、さらにイメージが深まった次第です。

○栗谷委員

天王寺小学校区の子どもたち、毎年連れて行ってるんですけども、阿倍野区のキューズモールのベルタの裏に阿倍野防災センターというのがありますが、そこで地震震度5、6というのを体験できました。実際にけがをした時に三角巾を使って応急処置するとか。区は違うんですけども、地域でね、そのセンターに遠足に行っても面白いと思うんですよ。そこは無料で体験できますし、実際に防災の情報が詰まっていますので、天王寺区も同じ大阪市の中ですので、もっと宣伝してもいいんじゃないかなと思います。もったいないですね、近所に歩いて行ける距離ですから、もっと天王寺区の皆さんに活用してもらってもいいかなと思いますね。

○原田（照）委員

防災関係ですと、先月の9月1日に聖和で防災フェスタというお祭りのような感覚で、子どもからお年寄りまで、いろんな形のプログラムやったんですけども。さきほどおっしゃったんですけども、防災センターに行こうかという話も出ておりましたけれども、今回

は見送りました。

それだけの人が移動するのは大変だな、ということで。その中で、昨年、この家具固定ワークショップを、私も災害救助青年部の一員だったので、資料の写真に写っているのは私なんです、ワークショップをやって思うのは、2つ問題があるなど。1つは先ほどから言われている高齢者がなかなかできないと。ワークショップやった時には、やらないアカンな、と皆その時は思うんですね、ただ終わると、どんどんそういう気持ちが薄れてくるんです。タイミングよく先ほどありました町会単位で、お隣さんとかね、その中に当然、災害救助青年部もいるから、それならお年寄りには手伝ってあげるとかいうような町会単位でやるというのがいいんじゃないかと。それともう1つが、マンションの中で、家具固定って結構難しいんですね。実際にやろうとすると、つかえ棒くらいならできるんだけど、何かで固定するっていうやり方が非常に難しいというか、見映えが悪くなるというかね、結構そういうことを気にしてる人が多かったですね。実際にやってみると、町会との中で独居の人がどこにいるということを知るうえで両方の形での繰り返しやるということで少しずつパーセンテージが上がっていくんじゃないかな。1回やったからって絶対ダメです、繰り返しやるしかないですね

○事務局

時間の関係もございまして、4-1から4-4までご用意させていただいているんですけども、4-2から4-4は次回以降にさせていただくということで、4-1が終わりましたら次の防災計画のご説明に移らせていただきたいと思いますと思うんですけども、いかがでしょうか

○出水議長

いろんな意見が出ておりますが、意見をペーパーで提出いただく機会もございましてけれども、どうしてもこの場で、という方がおられましたら、あとお一人かお二人くらい

○水谷区長

最後に田中（英）委員と河村委員が手を挙げてらっしゃいましたけど

○田中（英）委員

次の防災計画の話になるかもしれないんですけども、上町台地が一番危険なところだと言っているにもかかわらず、安心だと思って引っ越されてくるわけですね。言いたいことは、断層がズレた場合に、どのくらい危険かということを住民に知らせないといけないと思うんですけども。私どもの学校は府から補助金をもらって耐震工事やりましたけども、貧乏な学校だけども、やらないと命にかかわる、ということでやっているわけで、ビルでも耐震工事が必要なものいっぱいあるわけですし、防災の大学の有名な教授ですけども、死ぬこと覚悟して、そこで仕事しろと言われてました。そのくらい危険らしいんですけども、それが事実かどうか、行政としてそういう情報を、どういうふうに住民に伝えるべきか、お伺いしたい。

○河村委員

この天王寺区内で、皆さんご存じかわからないですけど、一番危ないのは細工谷っていうところだと言われているんですね。細工谷っていうのが、地震が起きれば、結構、古い家が多く、木密（もくみつ）地区なので、区内で唯一ですかね、地震が起きれば火事が起きて、道も細いので消防車が入っていけない。実際に起きてしまうと死者の数は天王寺区でどのくらい？

○小川課長

市内4番目で、早朝で391人、昼間で573人です。

○河村委員

家具を固定しなければ、家具が倒れてきて逃げるのが遅くなってしまうので、取り付けていただきたいんですけども、住んでいるところが府営住宅なんですけれども、壁に穴をあけることすらダメなんですね。穴1つあけるのも府に報告して空けないといけないんです。賃貸住宅も穴をあけたら、あまりよろしくないと思うんですね。家具固定も、いろんな取り付け方があると思うので、そういうのをレクチャーしていただければと思います。

○出水議長

様々な意見出しましたが、そろそろ時間ですので、資料せつかくご用意いただいたんですが、4分の1で終わってしまって、せつかく出席いただいたのに、出番が無かった職員の方には申し訳ないんですが、議事4に進ませていただきます。災害に強いまち てるのうじ実現プラン 天王寺区防災計画たたき台、本日は説明のみということで、お願いします。

○小川課長

説明だけさせていただきます。概要版と冊子を、たたき台ということで皆様方にご提示させていただいております。この場をお借りして、また、その他、各団体の皆様方とか、地域活動協議会が立ち上がっている地域もございしますが、そことかにご意見を頂戴しておりまして、たたき台にご意見を頂戴した結果、素案にまで内容を充実しました。パブリックコメントということで、区民の皆さんからもご意見をいただいて、最終3月くらいには、予算の関係もありまして、市議会の議決もいただかないといけないんですけども、実現プランということで、今年度中に策定しようと思っております。ここの中身なんですけれども、はじめのところに書かせていただいておりますけれども、8月に中央防災会議というところがございまして、南海トラフの巨大地震、関西以西30の都道府県で最悪の場合には死者が32万人を超えるという被害想定を出したんですけども、しかし、建物の耐震化を進めたり、初期消火の成功率を向上させる、とかいうことで、死者は6万1千人まで減るという試算も出ているということが書かれておりました。過度に心配する必要はなくて、正しく恐れてほしいとか、地道な対策や訓練の積み重ねが減災につながるということが書かれておりまして、減災のために、やはりまずは自分の命や家族の命を守る自助と地域の皆さんで助け合う共助ということを皆様方に考えて

いただきたく、自助・共助を中心にお示ししたのがこの防災計画ということになっております。もちろん、後ろの方には公助ということで、区役所としてどういうことをやりたいか、という目標も書かれておりますので、ぶ厚い冊子ではございますけれども、皆様方に一度ご覧いただき、ご意見をいただきたいということで、ちょっと恐縮なんですけれども10月末を目途にFAXでもお電話でも結構ですので、ご意見をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○水谷区長

要するに、一言で言うとですね。災害対策基本法に基づいて市全体で防災計画を作ったわけですけれども、市長かわられて、市政改革の一環でですね、区ごとで防災計画を作ろうっていうふうになったわけですね。まさに今、たたき台ということで、天王寺区役所でこれ作っているわけですけれども、これから必要な手続きを経たうえで、来年度全戸配布できたらな、というふうに書いてあります。ですから、これちょっと今すぐご意見いただくのは大変難しい話だと思うんで、家にお持ち帰りいただいて、読んでですね、ここの箇所を変えたらいいんじゃないとか、ご意見いただきたいという趣旨でございます。それから単純素朴にですね、全戸配布するっていうけど、この量はちょっと多いんじゃないのとか、そういうところも含めてどんな小さな意見でも構いませんので、ぜひお寄せいただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

○田中（英）委員

これだとわからないです。わが家はどうなんだ、この地区はどうなんだ、と。これ配っても、関係ないや、って置かれてしまう。

○水谷区長

そうです。やっぱり防災ってすごく大切なことなんですけど、なかなか認識が普及しない、この壁をどう越えるか。さっき防災の家具固定ワークショップについて、ぜひロコミで区役所がこんなことをやってるよって広げていただきたいっていうお話を区役所からさせていただきましたが、ロコミで区役所とか、防災とかが話題にあがること皆さんあまりないでしょ。友達とかの会話で。同じように、このような資料をもらっても、仕事から疲れて帰ってきて、漫画読みたいのに漫画を読む手を止めて、こっちを読もうと思う方もなかなか少ないと思いますし、そこをどう突破していくか、というところをまさに皆さん本当、今日議論をうかがって多士済々集まっておられると思いましたので、知恵を出してですね、取組を考えていけたらと思っております。

○出水議長

最後にどなたか、どうしてもという方がおられましたら

○原田（恵）委員

私、気になるんですけど、逢坂公園の近くに住んでいるんですけども、ここの公園はいつも鍵が閉まっていて、一部の人が鍵を持っていて、中で犬の散歩をさせたりして。ゆとりとみどり振興局の方にお問い合わせなんですけど、以前に奥の方で浮浪者が火を出した

から閉めているっていうことなんですけども、それならもっと前からオープンにして見
えるようにするとか

○水谷区長

確認して、原田（恵）委員に報告してもらいます。

○出水議長

本日の議論も一段落ということで、市会議員の先生より一言お願いします。

○足高議員

今日は本当に皆さんご苦労さんです。今日、皆さん方から全然違う立場からいろいろご
発言いただいて、区役所だけの問題ではないんですけど、大阪市全域の問題なんですけど、
やはりそれをどうしていくか、非常に良い提案をたくさんいただいたようです。
ただ、なかなか1つ例えばさきほど区長からも話がありましたけれども、安心安全カー
ドというものを皆さんご存じですか？これ最初始まった時はね、出村委員、社会福祉協
議会の会長でしたけど、社会福祉協議会が中心にやったんです。これはいざという時に、
ちゃんとカードに入れて首からぶら下げといたら、地震とかい로운な時に個人情報です
けどね、いっぱい書いてあるから、なんかあればこの病院でどういう薬を、というの
ができるんですけどね。これは当初は地域振興会では対応してもらえなかった。なんで
そんなことしないといけないのかと。で、ようよう区役所も含めた皆さんの力のおかげ
で、両方ともできるようになったと。こんな本来でしたら、地域振興会が頑張るんで
あれば、そこが全部やっていただいたらいいんですけども、先ほどらい、お話があるよ
うに地域振興会は町会費を払っている人だけを対象にするもんやから、そこに入ってい
ない社会福祉協議会の関係で、まあいろいろお世話になっているお年寄り仲間に入れ
てもらえなかった。ようよう大阪市の予算もつきましたんで1つになりましたけど。現
実にはあいかわらず両方で動いているんですよ、おかしい話でしょ。これ本来なら区長、
もっと強権をもってやね、1つにせえ、というくらいのことをしてもらわんといかん、
ということかと思えます。先ほど、ちょっと地震で倒れないようにするという道具の話
がありました、あれも研修に行くと、その時に1セットくれはるんです。その1セットも
らったって、持ち帰って1か所ですみます？先ほどあったように業者さんを使うとか工
夫はあるにしてもね、もっとたくさんの方ができるような工夫をせんと。行政もそん
な全部金を出すなんて無理です。だから、おっしゃっている、あんまり特定の業者はい
かんでしょうけど、工夫の中でできるようなね、ことをご提案いただいて、これも区だ
けではすまない、天王寺区だけできて、他の区ではできない、ということにはなれへん
から、オール大阪として何かできる工夫がないのか、それをもっと議論つめていただい
たら、いい形になっていくかもわかりません。いろんな問題お話いただいたんで、あり
がたいなと思えます。これから直接、皆さんのご意見をどう聞いて、変えていきはるか、
わかりませんが、この市民プランも最終的には我々議会の方でご了解させていただい
て、どれだけの経費をつけられるかわかりませんが、できるだけ皆さんの素晴らしい、

教育と文化の緑の素晴らしい天王寺のまちづくり、ずっと言い続けていますけど、そこだけで皆さん来られてるんです。話が戻りますけど、先ほど区長からありました、生魂地区で非常に住民、地域振興会入っていない、17%だったでしょ、あそこは防犯で言いましたら、この間も、防犯の会議で表彰されていましてね、あそこの地区の見回り隊も。ところが犯罪はやっぱりある。あそこは、ワンルームが多い、なんで言うたらミナミに非常に近くてですね、ワンルームに住みたくなるという人がたくさんおるといことが、町会に入る率も低いし、せっかく防犯大会で表彰されても、実質的にイコールにならない。そういう地区が天王寺区の中にもバラバラとあちこちあるわけで。全ての天王寺区の地区が、学校が良くて、安心安全ということではない。それはやっぱり皆さんの知恵を借りながら、1個1個解決していくことが大事ですので、これから1年間続くわけですから、皆さんしっかりと議論していただいて、良い形でまとめていただきたいと思います。今日はどうもごくろうさまでした。

○福島議員

皆さん、お疲れ様でした。今日の会議はそれぞれの方が積極的にご発言されて、そういう意味で非常に画期的だなと思いました。

経緯を皆さん。ご存じかどうかかわからないですけど、もともと区政会議があつて、ここにいる何名かの方も区政会議にいらっしゃったんですけども、天王寺区は公募委員から構成される会議ができたということです。もう1つの会議も並行して進んでいくということですけども、非常に多くの意見が出て、天王寺区にずっといらっしゃる方、また新しい方もいらっしゃって、すごく良かったなって、全体的に見て思いました。

ただ、これは今後の進め方ですので、もちろん委員ではないので1つの意見で、行政側への提案なんですけれども、この今日議長を決めました、強み弱み、めざすべき方向性を皆さんにお伺いしました、めざすべき方向性というのが、どこまでの話だったかわからないですけど。政策のチェックということで事業のチェックで、4番目に防災計画なんですけれども、その関連性というのがどうなんかなど。めざすべき方向性がここにあつて、この会でこういうことを話し合ひましょうと決めていくのか、1つ1つの事業をチェックして、どのように区役所は反映できるのか、この会議の大きな目標とか役割とか、という部分を決めるということも重要なことじゃないかなと。この1年を通じて何か提言を出されるのか、この会の中にどういった役割を持たすのか。1つはチェックというものがあつたけれども、区の事業をチェックしていくというのが、この会議の担っている1つの大きなところだと思う。チェックというのは、批判するだけでなく評価という部分もあるかと思うんですけども、市から区長に権限を下ろしておく、というようになっていますけれども、区長の仕事のチェック、選挙は経ていませんけれども、皆さん方の果たす役割というのは非常に大きいと思います。今日いろんな議論あつた中で1つ、地域というのが大事ですね。いま地域活動協議会というのが概ね小学校単位できあがっていきますけど、各小学校単位での地域ということが非常に重要だと思います。

この会議は、天王寺区全般の議論をしていく場なんで、災害とかいろんな話だと思いきすけれども、これは私自身が感じたことなんで、区役所がめざす大きな方向性、1年後にはどういうことをやっていくのか、ということを考えれば、皆さん方の意見が必ずしもすべてが成果につながるわけではないかもしれませんが、整理されていくんじゃないかなというふうに思いました。委員の皆さん方と区長とが、うまく天王寺区をより良い方向になるように、していただけたらなと思います。ありがとうございました。

○水谷区長

皆さん2時間お疲れ様でございます。両議員から、ご指摘・ご提案いただいて、私としても次に向けて、それを取り入れてですね、改善していこうという気持ちになっておるわけですが、第1回終えてみてですね、感想としてはおもしろかったなと思いますね。実際に皆さん、どうですか今回参加されてみて。前回の打合せでは、まだちょっとぎこちなかったですけど、どうですか。結構おもしろかったという人がいてくれたらなと思います。出てきた意見としても、すごく具体的で、ワークショップよりも冊子の方を進めてですね、防災対策を進めていけばいいんじゃないかとか、業者と連携してもっと防災に関連した取組を進めていったらいいんじゃないかとか、なかなか行政の中だけで議論しては出てこないようなアイデアも、どんどん第1回目から出てきて。これは回を重ねていけば、より具体的な意見が出てくるんじゃないかなというふうに思いました。やっぱりこの区政戦略会議、それから並行して行われる区政有識者会議は難しい言葉で言えば「PDCA」、行政として政策を立案して、実行して、その実行に対していろいろな方々からのご意見を受けて、それを踏まえてまた実行していく、というこの一連の中での1つの重要なステップなんですね。ですから、こうやって皆さんからいろいろ提案いただいて、その全てが採用されるわけではないんですけども、委員の方みんなで納得していただいて、行政的にも、これはやるべき大義がある、合理性があると判断した事項については取り入れていく、またもちろんこの会議だけではなくてですね、天王寺区には「あなたの声をつなげ隊」あるいは区政モニターといった、より多くの方々からご意見をいただく機会を設けておりますから、そことバランスさせることでですね、より広範な区民ニーズを取り入れた区政運営というものを行っていききたいなという認識をさらに強める機会となりました。

今日はまだ1回目なので、まだまだ助走段階ではあるんですけども、これからどんどん皆さん議論にも慣れていかれて、区政についても詳しくなられていかれてですね、より濃密な議論ができるんじゃないかと思っております。事前にですね、今日議論する内容に資料をある程度お配りして予習をお願いしていたんですが、次回以降もなるべく予習をしてきていただいて、議論するという路線をですね、継続していきたいと思っております。予習大変だったという方おられますか？どのくらいの分量が適切なのか、も含めて、今日も2時間で議論しようと思ったら1トピックが限界でしたので、トピックを絞ろうというのも、皆さんの中でご意見をいただきながら、事務的にも調整してまいり

たいというふうに思っております。今日、事務局から皆さんの連絡先等を集めさせていただくと思うんですけども、事務的な部分でも皆さんが円滑に議論に参加いただけるような仕組みを構築してまいりますので、次回以降もですね積極的な議論を期待しております。どうぞよろしくお願いいたします。

○出水議長

本日の議論は以上でございます。ありがとうございました。

○事務局

本日は熱心なご議論ありがとうございました。お手元に第1回天王寺区区政戦略会議に対するご意見シートをお配りしております。この様式でなくても結構ですので、メール等でお寄せいただければと思います。本日の資料および議事内容を後日、天王寺区役所のホームページに掲載させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上をもちまして、第1回天王寺区区政戦略会議を終了いたします。ありがとうございました。